

く さ か

久坂くにえ通信

昭和48年2月生まれ 0型 聖心女子大学文学部



英文学科卒業、文教常任委員会委員長・議会運営委員会委員

元若手市議会議員の会関東ブロック事務局長

かまくら民主の会所属・平成21年5月二期目スタート



第36号2009年7月

カエル！ジャパンの日は来るか

子どもと、すべての子育て家庭を支援するための、鎌倉市次世代育成支援策をまとめた「きらきらプラン」。その見直し(平成22年からの後期行動計画の策定)が現在行われています。策定においては、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)の指針にも配慮することです。

現在、元トリンプ社長の吉越氏や、小室氏・勝間氏などによるワークライフバランスについての本が数多く出版されています。ワークライフバランスの肝は「いかに残業せずに、効率を上げて仕事をするか」ということではないでしょうか。

現在この概念について注目が集まっていますが、夜、電車から都内などのビルを見ると、どこもかしこも煌々と明かりがついており、一個人が意識の変革を行うだけではまだまだ「残業が美德」とされる社会を変えることは難しいと実感しています。しかしながら、増加する共働き家庭が、同時に介護・子育ての担い手でもある事などを考えれば働き方の見直しは避けては通れない課題です。

■ 地域とともに歩む学校・一般質問概要

6月定例会では、開かれた学校づくりをテーマに質問を行いました。


現在部活の外部指導員やボランティアなど様々な形で学校に関わってくださる方が多くいますが、まだまだ敷居が高い、学校に協力するためにはどうしたらよいかわからない、といった声を聞きます。

そういった地域の力と、学校のニーズをより合致させ、より協働できる体制づくりを行うべきではないかと思っています。

具体的には


- ・ 学校からより地域に対してどういった面で助けが必要なのか積極的な情報発信を行うこと
- ・ 人材バンクの創設を行い、ボランティアとして活動したい方の登録を行い、需要と供給のミスマッチを防ぐこと
- ・ 学校評価はその方法・結果についてより積極的に活用されるべきではないかといった事を提言しました。以前コミュニティスクール(保護者・地域がより直接的に学校運営について関わる仕組み)について質問を行いました、その前段としてもっと開かれた学校づくりを推進すべき、と考えています。

ミニコラム

①  今回のタイトルがなぜ

カエル！ジャパン
かと言うと……

② 内閣府の
ワークライフバランスの
シンボルマークだから
カエル！ジャパン

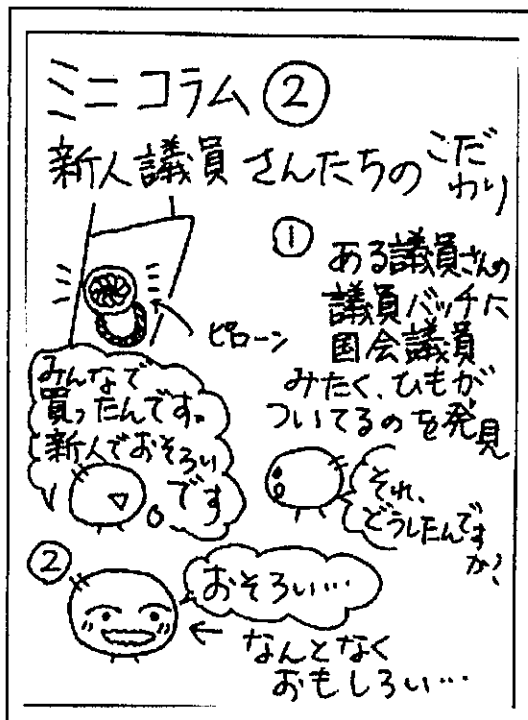
本当は
こんなのもとある事が
あるような…… 

■ 文教常任委員会報告事項から

野村総合研究所跡地に予定されている美術館・中世博物館の最新の整備計画が文教常任委員会で報告されました。

以前横須賀で「文化の発信基地が必要」として当時の市長肝いりで作られた美術館を視察したことがあります。地域のボランティアの方が多数参加・子どもたちのワークショップ開催等まさしく生きた美術の発信の場となっており、素晴らしい施設となっていた事が印象的でした。

しかしながら厳しい財政状況の中、美術館・博物館の建設と運営には多大なコストがかかることがすでに予想されている事から、様々な角度からの検討が必要と思われます。



■ 大船駅東口にエレベーターが設置されます

平成 23 年度末に完成予定として、大船駅東口バリアフリー化計画が進んでいます。今回の建設常任委員会で計画図が報告されました。

■ 参議院議員浅尾慶一郎と1192をつくろう～浅尾に提言～

これまで政策は中央官庁が業界団体と意見調整をしながら決定し、上から下へと落とし込んできました。しかし価値観やライフスタイルが多様化した今日、社会の随所にある英知や発想を拾い上げ、政策につなげていく姿勢が大切になります。

「浅尾に提言」では皆様から生のご意見を頂き、職業や年齢を異にする専門家の集合体である「1192つくろう委員会」で審議の上、具体的な政策へと昇華させていきます。日本初の市民立案型のシンクタンクを共に創り上げましょう！

最近の提言以下のような提言を頂きました

「新型インフルエンザについて」「一般医薬品のインターネット販売について」
回答や詳細については、下記をご覧ください。

<http://www.asao.net/proposal/index.html> もしくは「浅尾に提言」で検索を

なんでも募集しています！

久坂くにえを応援して下さる方
この通信の配布などお手伝い下さる方
サポーターを随時募集しています。
お気軽にご連絡ください！

久坂くにえサポーターズクラブ

〒247-0056 鎌倉市大船 2-10-25-302

TEL/FAX 0467-47-1905

メール: mail@kkusaka.net HP: <http://www.kkusaka.net>